

広島市立安佐市民病院

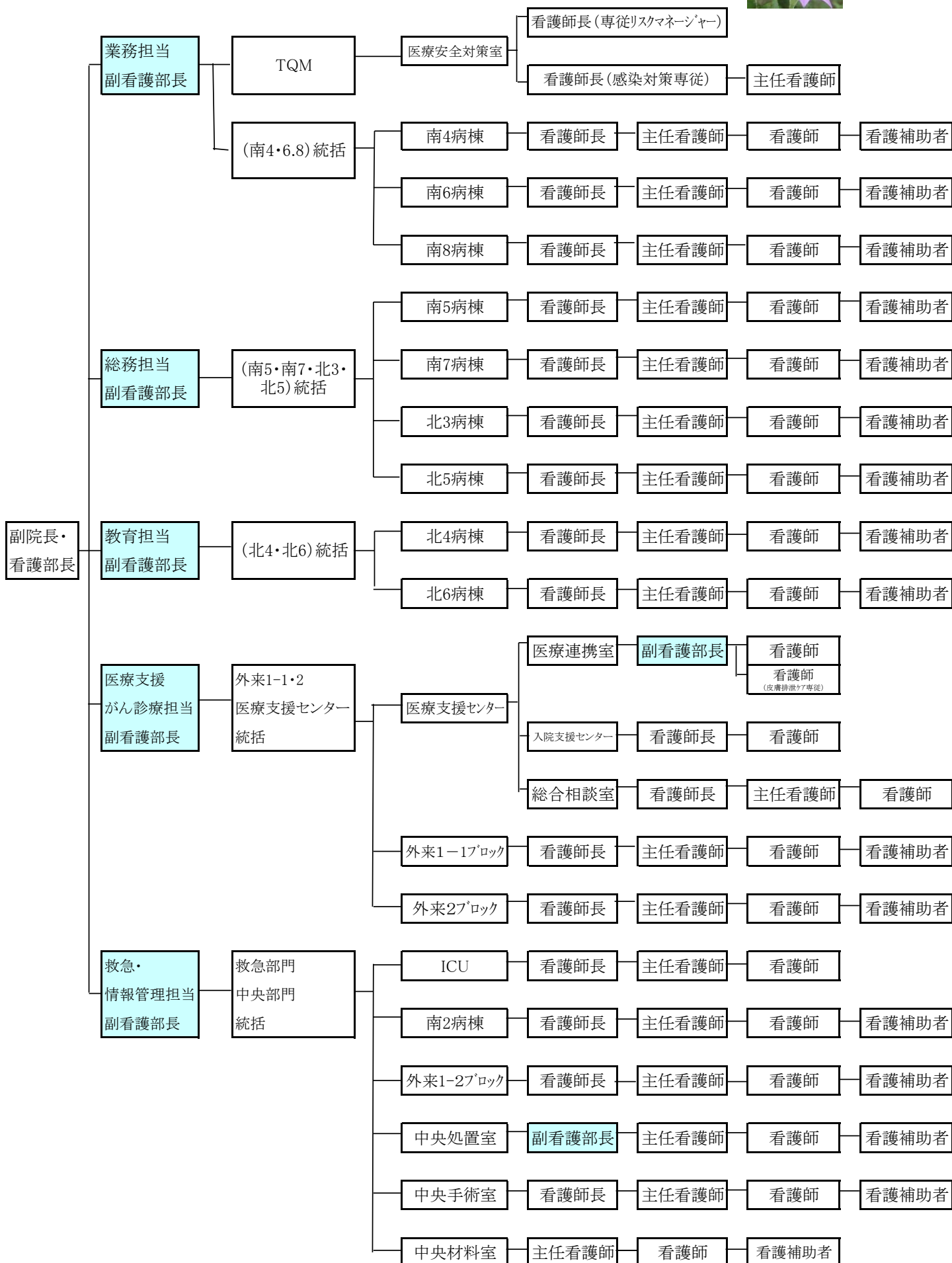
目次

1. 看護部組織	32
2. 看護部理念・目標	33
3. 令和2年度看護部目標	34
4. 看護部BSCと成果	35
5. 看護部教育	
1) 年間教育	40
2) 新人年間教育	42
3) 資格等（看護協会、学会認定等、院内資格）	43
6. 看護活動	
1) 認定看護師活動	44
2) 学会・誌上発表	46
3) 社会貢献	49
7. 実習受入校	49

安佐市民病院看護部 組織図



2020/4/1



看護部の理念、基本方針及び教育理念

看護部理念

「科学的に」「感性豊かに」「考えて行動する」看護を実践します。

看護の力行(家業)三か条

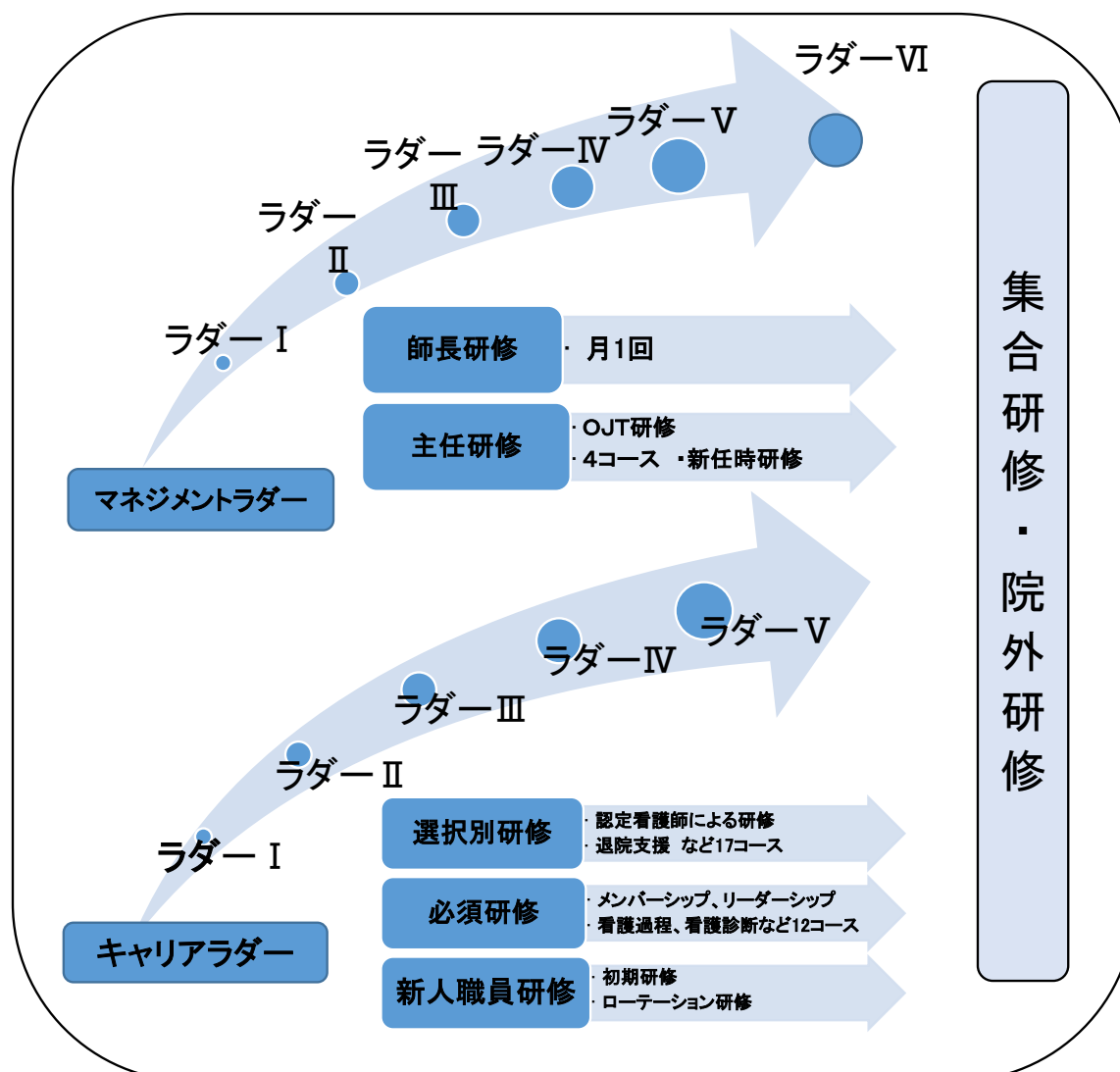
看護部基本方針

1. 看護専門職としての能力を高め、安全で安心な看護を提供します。
2. 職業倫理と看護倫理を規範とした行動をとります。
3. チーム医療の中心的な役割を果たし、質の高い看護を目指します。
4. 「その人らしさ」を大切に、患者さんの思いに寄り添える看護師を育成します。
5. 地域との連携を強化し、地域医療に貢献します。
6. 健全な病院経営に参画します。

看護部教育理念

1. がん診療拠点病院、地域基幹病院として、高度医療に対応した質の高いケアが提供できる看護者を育成する。
2. 高い倫理観と自己教育力を有した自律性の高い人材を育成する。

看護部教育体系



令和 2 年度 看護部目標

『変化と成長～考動する看護部組織を目指して』

令和 4 年、新しい機能と使命を持った

「広島市立北部医療センター安佐市民病院」の開設に向けて

昨年度から、新病院の開設に向けて、様々なワーキングが積極的に活動し、目指す方向性や取組事項の検討などが始まっています。

令和 2 年度は、それを「形」にしていくこと」そして「形を動かしながら、体制を構築していく」ことが必要な時期となっています。新病院の使命は「超急性期の患者を受け入れ、地域での療養を支援できること」です。そのためにも「安佐医師会病院との連携強化」も求められます。

新病院まで残り 2 年となりました。看護部では、昨年度から取組始めた以下の 3 点を、構築し定着を図ることが求められます。さらに、専門性を高め看護実践力の向上を図るための教育も同時並行で進めなければなりません。

看護部全体でこれらの意識を高く持って、考動することが重要です。

地域に求められる新しい病院づくりに向かって、さあ、動きましょう！

当院看護部では、これらの背景を踏まえた取組を定着させていきます。具体的には、

- ①新病院に向けた看護提供体制の構築
- ②入退院支援体制の再構築
- ③新外来看護体制の基礎づくり

変化していかなければならない組織の未来を実現することに、私たちの使命と誇りを持って取り組んでいきましょう！

2020年度 看護部目標

2021.3.17

看護部の理念:「科学的に」「感性豊かに」「考えて行動する」看護を実践します

看護部長 松原

1. 看護専門職としての能力を高め、安全で安心な看護を提供します。
2. 職業倫理と看護倫理を規範とした行動をとります。
3. チーム医療の中心的役割を果たし、質の高い看護を提供します。
4. 「その人らしさ」を大切に、患者さんの思いに寄り添える看護師を育成します。
5. 地域との連携強化を図り、地域医療に貢献します。
6. 健全な病院経営に参画します。

2020年度 看護部目標:「変化と成長～希求する看護部組織を目指して」

- ①新病院に向けた看護提供体制の構築
- ②入院支援体制の再構築
- ③新外来看護体制の基礎づくり

I:看護部重点戦略目標

No	目標	戦略目標	看護部重点取組	評価指標	前年度(2019年度)数値 (新規指標「新設」と記載)	目標値	主所管	10月評価	2月末評価
1	新病院に向けた看護提供体制の構築	1)責任と質の高い継続看護の提供	①看護の専門性の向上	①キャリアラダー受検者数	Ⅱ25人、Ⅲ:29人、Ⅳ:3人	前年増	教育	年間末評価にて未	Ⅱ23人、Ⅲ:16人、Ⅳ:1人ラダー受検者数は昨年度より減少。ラダー受検の要件が変更となり、受講研修が増えたため要件を満たす受検者数が減少した
			②日々ラダーの育成	①ラダーⅡ認定者数	25人	前年増			2月より認定面接開始
			③チームリーダーの育成	①ラダーⅢ認定者数	28人	前年増 各部署Ⅲ以上:2.5割			
			④固定チームナーシングの円滑な運営	①固定チームナーシング評価指標	新設	新設	看護提供体制プロジェクト(業務)	10月末に各指標評価	10月末評価、課題に対する改善に取り組み、3月に再評価
			⑤退院支援等、チームカンファレンスの促進	①退院支援関連カンファレンス件数	平日1日1件以上	前年増	各部署	計画通り	計画通り
			⑥ICの同席	①同席件数	新設	前年増			
			⑦看護診断の適正評価	①各部署使用上位1のNOC改善率	1.5	前年度よりアップ	記録	4969件(前年度221件減)	73診断、11161件(12月末)1倍増
		2)新病院での病棟再編と運用案の作成	①病棟再編に伴う看護提供体制の整備	①看護提供体制の運用案作成 ②病棟マニュアルの作成 ③病棟諸室運用マニュアルの作成 ④看護手順基準の作成	新設	①～④完成	看護提供体制プロジェクト(業務)	病棟再編が決まり次第	病棟再編がほぼ確定。総合病棟から、患者・看護師・物流動線を検討し、他部門と調整段階。各種マニュアルの具体的な内容を取組む
			②病棟再編に伴う看護師教育	①看護師教育の研修計画の作成 ②研修計画の運用 ③運用後の評価	新設	①研修計画運用案作成 ②研修計画に基づいた研修実施 ③年度末に実施した研修評価の実施	BBワーキング 野村 糸川	運用案検討中	研修計画運用案策定。計画に基づいた研修は4月中旬以降から実施予定
		3)安全・安心な看護の提供	①身体抑制予防のアルゴリズムの定着	①身体抑制監査の妥当性 ②身体抑制中のIA件数 ③アンプレートと要人数の一致 ④身体拘束患者の割合	①開始日72%、1週間後69%、解除日57% ②269件 ③83% ④3.4%	①前年度増 ②前年度減 ③100% ④3.05%	安全	①開始日83%、1週間後77% 解除日57% ②83件 ③85% ④3.18%	①開始日88%、1週間後73.1% 解除日65% ②164件 ③84% ④3.53%
			②服薬管理の確立	①患者間違いのIA件数 ②内服看護管理IA件数	①4件 ②217件	①0件 ②前年度より減少		①1件 ②112件	①4件 ②205件
			③適切な療養環境の整備	①転倒転落発生率(レベル3以上) ②骨折発生率 ③大腿骨骨折発生率 ④転倒転落IA3b以上	①0.28% ②0.08% ③0.02% ④15件	①0.12% ②0% ③0% ④前年度より減少		DINQデータベンチマーク未	①0.40% ②0.15% ③0% ④12件
		4)効果的・効率的な運用による業務改善	③業務負担軽減	①時間外時間 ②年休取得	①平均:8.46時間/人 ②平均11.4日/人	①前年比減 ②前年を下回らない 各人5日/人以上	労務	①平均5.2時間/人 ②5日以上を取得中	①平均6.2時間/人 ②平均 スタッフ:12.2日/人 主任看護師:11.3日/人 看護師長以上:6.7日/人
2	入院支援体制の再構築	1)入院前からの退院支援を促進	①外来カンファレンスの促進	入院前カンファレンス件数の増	32件	前年度増	病床プロジェクト	17件	35件
			②入院支援の介入	退院支援率の増	46%	前年度増		46.90%	45.4%(1月末)
			③DPCⅡ 超えの減	DPCⅡ 超え率	31%	20%以下		20%	21.8%(1月末)
		2)適正な入院期間の調整	①DPCⅡ 超えのバスの見直し(1件) ②新規バス作成 ③バージョンアップ ④バス適応率	①Ⅱ 超えバス見直し件数 ②短縮可能なバスの抽出	①1件 ②7件 ③15件	①1件 ②7件 ③15件	バス	①見直し中 ②作成中 ③7件 ④91.1%	①1件 ②7件 ③17件 ④52.8%
			③新病院を想定した連携バス(案)	連携バス案の作成	①連携バス作成件数 0件	2件		未着手	
		3)効果的・効率的な病床運用	①病床稼働率の向上	①回転率の維持 ②新規入院患者数 ③複数診療科(一般病棟)	①回転率 2.79 ②新規入院患者数14,920人 ③複数診療科(一般病棟平均12.8科)	①回転率2.79 ②新規入院患者前年度増 ③複数診療科前年度維持	病床プロジェクト	①回転率:2.67 ②新規入院患者数798人 ③13.9診療科	①回転率:2.6 ②新規入院患者数12,435人(大ボリ・化学療法を外来化に移行した患者数から見ると、新規入院患者は前年度とほぼ回復傾向) ③14.3診療科
			②外来・入院単価の維持・向上	外来単価 入院単価	外来単価26,285 入院単価73,003	外来単価27,000 入院単価74,000		外来単価28,157 入院単価82,080	外来単価28,088 入院単価82,566
			④PFMの確立	①PFMマニュアルの完成 ②定診療科でのPFM実施	PFM未完成			①PFMマニュアル作成中 ②検討中	PFMの運用検討中
			③看護必要度と病床機能の選択	①一般病棟 看護必要度の割合維持 必要度Ⅰ:31% 必要度Ⅱ:29%(10月より移行)	新設	新設		9月まで:46.6%	45.50%
3	新外来看護体制の基礎づくり	1)外来看護のあり方を統一・浸透	①外来看護基準・手順の見直し	外来看護基準・手順の見直し	1回/2年実施	100%	外来看護提供体制プロジェクト	100%	100%
			②継続看護の強化	入院前カンファレンス件数の増	32件	前年度増		17件	35件
			③外来看護師の実践能力向上	コンピテンシー習熟度評価アップ	①外来1-1 できるが85%以上 ②外来1-2(平均71点) ③外来2(平均92点)	①出来るが85%以上 ②前年度増 ③前年度増		①75% ②平均71点100% ③平均87.1点	①90% ②平均81.3点 ③平均87.6点
		2)新病院に向けた外来看護の運用案の作成	①新外来看護体制の整備	①運用案の作成 ②看護師・医歯クラークの役割の明確化	新設	①看護師業務運用マニュアルの作成 ②新外来看護体制マニュアルの作成	情報必要度	①完成 ②作成中	①完成 ②作成中

II. 院長諮問所管委員会目標

No	委員会	戦略目標	重点取組	評価指標	前年度数値 (新規指標「新設」と記載)	目標値	担当	10月評価	1月末評価
1	病床適正化委員会	1)病床稼働率の向上	①夜間看護配置を維持した稼働率の維持	①新規入院患者数 ②夜間12対1	①新規入院患者数14,920人 ②16対1	②12対1	松原 近森 正田	①新規入院患者数798人 ②12対1	①新規入院患者数10,270人(12月末)(大ボリ・化学療法を外来化に移行した患者数から見ると、新規入院患者は前年度とほぼ回復傾向)①新規入院患者数10,270人 ②12対1
		2)DPCⅡ 超え患者割合の減	②看護師長の退院決定推進	①DPCⅡ 以内の退院	①66%	①70%		①80%	①78.2%
2	クリニカル・バス検討委員会	1)バスの有用性の向上	①新規バスの作成	①新規バス作成数	①新設	①1件	糸川 金子	①作成中	①1件
		2)バス適応率の向上	①DPCⅡに適応したバスの見直し	①DPCⅡ 越えのバスの見直し ②バージョンアップ	①新設	①Ⅱ 期越え見直し25件 ②①と合わせて計27件		7件	①1件 ②17件
4	夜勤検討委員会	1)協定違反なし	①勤務表の確認徹底	①違反なし	①3件	①ゼロ	近森	2件	2件
		2)夜勤時間の増なし	②看護師の夜勤基準の遵守	①72時間/月未満	①64.8時間/月	①64時間(8回)		60.8時間/月	61.6時間/月
5	特定行為推進委員会	1)特定行為の推進	①特定行為の実施支援	①特定行為実施患者数(実人数)	①60人	①80人	松原		
		2)特定行為研修受講者増	②研修受講への働きかけ	①新規受講生	①2人	①2人		2人	2人
6	その他	1)チーム医療の活性化	②評価指標の進捗管理	①別紙	別紙	別紙			

2020年度 看護部目標管理指標

* 部署別／全体のデータ抽出

2月末

項目	データ	管理部門	抽出期間	中間評価	最終評価	前年
病床管理	1 病床利用率	看護部長室	1ヶ月	64.1%(稼働率71.0%)	66.8%(稼働率73.8%)	80.8%(稼働率88.2%)
	2 平均在院日数			9.3日	7.5日(全体9.2日)	9.9日(全体8.3日)
	3 病床回転率*数式(実患者数÷病床数)				24.27	27.97
	4 新入院患者数			1108.5人/月	1130.4人/月	1304.8人/月
	5 退院患者数			1109.5人/月	1132.2人/月	1315.5人/月
	6 転入患者数			243.7人/月	281.5人/月	271.1人/月
	7 転棟患者数			243.7人/月	281.5人/月	271.1人/月
	8 患者死亡数			21.6人/月	21.1人/月	29.5人/月
	9 延べ付添数			133.5人/月	132.5人/月	318.1人/月
	10 看護必要度			45.9%	45.5%	34.64%
	11 病棟別診療科入院状況(複数科の入院状況)			12.5診療科	14.3診療科	13.4診療科
業務管理	12 看護師夜勤時間(月平均)		1ヶ月	60.8時間/月	61.6時間/月	64.8時間/月
	13 年休取得状況(看護部職種別)				11.9日/1人	11.4日/1人
	14 看護部時間外勤務時間(正職のみ)			5.7時間/月	6.2時間/月	8.46時間/月(1月末)
	15 看護補助者業務時間数(16の時間含む)			14067.4時間/月	14932.1時間/月	11766.7時間/月
	16 アルバイト時間数		半期			1318.7時間/月
	17 育児短時間取得者			40人	56人	63人
	18 病休退職者数(人数)			4人	4人	2人
	19 退職率/退職者数(正規職員) 定年含まず				7.8%(定年含まず)	9.5%(定年含まず)
物品管理	20 SPDラベル稼働率		半期			82.32%
	21 ラベル紛失率		年間			0.66%(7-9月)
看護の質	22 社会活動(学会座長、委員、講師など)		年間		64件	128件
	23 看護部学会・研究会発表件数				18件	23件
	24 看護研究誌上発表件数				3件	9件
	25 学会・研修会参加回数				72回	136回
	26 認定看護師数				17人+特定行為5人	17人+特定行為3人
	27 各種資格取得者数(看護協会、学会認定等)				ファースト7人	ファースト:、セカンド2人、サード:1人
	28 学生受け入れ数				0件	7393日
	29 チーム数				19チーム	16 チーム
安全管理	31 IA報告件数	安全管理室	半期	1832	3327	3957
	32 内服患者間違い件数			1件	4	15
	33 医療事故報告件数			26	28	51
	34 (看護部関連)皆さまの声報告件数			35(良い22件)	65(良い35件)	21
	35 身体拘束件数(実人数)		年間	311人	522人	452人
	36 年間褥瘡推定発生率	皮膚排泄ケア認定Ns	半期	0.57%	0.40%	0.30%
	37 予防的抗菌薬投与率	感染対策室	年間		100%	100%
	38 CVP発生率/使用比(中心静脈)		半期	0/1,000devicedays 使用比0.36	0/1,000devicedays 使用比0.33	1.09/1,000devicedays 使用比0.39
	39 UTI発生率/使用比(尿路カテ)			0.58/1,000devicedays 使用比0.21	0./1,000devicedays 使用比0.14	0.00/1,000devicedays 使用比0.12
	40 VAP発生率/使用比(呼吸器)			0/1,000devicedays 使用比0.47	0.99/1,000devicedays 使用比0.42	1.05/1,000devicedays 使用比0.40
	41 針刺し事故件数(2013/2014)			14件	30件	36件

【2020各委員会指標】

* 委員会で「看護の質」評価として必ずデータを扱うもの
(毎年、評価すべき指標)

項目		データ	データ管理部門	該当するもののみ記載	2月	前年
看護の質	1	業務量調査	業務検討委員会	年間 100%	100%	100%
	2	ナーシングスキルテスト		年間(2回/年) 全員100点	100%	100%
	3	看護手順・看護実践マニュアル見直し修正率		年間 100%	100%	100%
	4	専門性の高い看護者77 (IC・カンパレンス・患者指導)		年間(5日/10月) 前年度よりUP	看護師一人あたりIC:1.1分(前年度1.0分)カンパレンス:17.1分(前年度14.2分)患者教育:1.8分(2.3分)	カンパレンス 7423件増 150%IC・指導 273減 95%
看護の質	5	固定チームナーシング定着状況	情報委員会	1月 3.0以上	3.3	新設
	1	必要度評価:A・B得点		前年度よりUP	6月監査A項目不整合58件B項目不整合122件	11月監査:基準超え29.4%A項目不整合63件B項目83件C項目4件
	2	必要度レポート整合性(前期のみ)		前年度よりUP		
	3	基準超え一致率		前年度よりUP		
	4	必要度研修:指導者合格者(実施された場合)		指導者実施の研修全員受講	指導者研修受講者6名全員合格	
	5	一般対象 2回/年評価者受講数		前年度よりUP		1回目143名 2回目85名合計228名
	6	集合研修不参加者研修(各部署) 参加人数		年間 未受講者0	未受講者0	動画配信にて不参加者252名全員受講
	7	ナーシングスキルテスト必要度テスト①②③満点合格者		年間 全員満点	ナーシングスキル必要度テスト①②③全員満点	ナーシングスキル必要度テスト①②③全員満点
看護の質	8	ナーシングスキルチェックリスト活用数	記録委員会	年間 全員チェック	チェックリスト全員実施	チェックリスト全員実施
	1	記録監査(委員会監査)形式的監査		半期 前年度よりUP	82.6%	90.1%
	2	記録監査(病棟監査)質的監査		半期 前年度よりUP	3.5	3.3
	3	看護診断数(立案件数)		半期(6月・12月) 前年度よりUP	4969	11161
安全管理	4	NOC改善点数(各部署使用上位1診断)	安全対策委員会	半期(6月・12月) 1.5以上	1.59	1.51
	1	身体抑制月平均実入人数(月別)		月別 前年度減	62人	69人(12月)
	2	身体抑制実入人数		年間 前年度減	311人	484人(12月)
	3	身体抑制監査の妥当性		前年度よりUP	83%	85%
	4	身体抑制テンプレートと実入人数の一致率		前年度よりUP	77%	74%
	5	身体抑制中のIA件数		前年度よりUP	64%	71%
	6	身体的拘束割合(DINQL)		半期 100%	85.00%	86%(12月)
	7	身体的拘束延べ患者日数割合(DINQL)		半期 前年度減	83件	176件(12月)
	8	転倒転落発生率(全レベル:DINQL)		1回/年 4.07%(25パーセントイル)(DINQLヘンチマーク急性期一般入院基本科入院科1)*	3.25%	3.18%
	9	転倒転落発生率(レベル2以上:DINQL)		4.37%(25パーセントイル)*	3.00%	3.93%
	10	転倒転落発生率(レベル3以上:DINQL)		3.21%(75パーセントイル)*	4.14%	4.43%
	11	転倒転落予防による骨折発生率(DINQL)		0.52%(25パーセントイル)*	0.83%	0.43%
	12	転倒転落発生率(レベル3以上:DINQL)		0.00%(25パーセントイル)*	0.40%	0.00%
	13	転倒・転落IA3b以上		0.0%(25パーセントイル)	0.15%	0.06%
	14	誤薬発生件数		0.0%(25パーセントイル)*	0.0%	0.0%
	15	誤薬発生率(全レベル:DINQL)		半期 前年度減	12件	12件(2月まで)
	16	誤薬発生率(レベル2:DINQL)		年間 前年度減	543件(2月まで)	717件
	17	誤薬発生率(レベル3:DINQL)		1回/年 4.03%(75パーセントイル)*	5.58%	5.62%
看護の質	1	キャリアラダー受検数	ラダー運営委員会	年間 申請者全てが受検	申請者数Ⅰ:53名Ⅱ:31名Ⅲ:18名Ⅳ:5名受検者数Ⅰ:53名Ⅱ:23名Ⅲ:16名Ⅳ:1名	Ⅰ:59名Ⅱ:25名Ⅲ:29名Ⅳ:3名
	2	キャリアラダー認定数		申請者100%	Ⅰ:53名Ⅱ:23名Ⅲ:16名Ⅳ:1名	Ⅰ:57名Ⅱ:25名Ⅲ:28名Ⅳ:1名/計111人
	3	キャリアラダー認定率		前年度よりUP	Ⅰ:100%Ⅱ:100%Ⅲ:100%Ⅳ:100%	Ⅰ:96%Ⅱ:100%Ⅲ:97%Ⅳ:33%
	4	マネジメントラダー受検数		前年度よりUP	Ⅰ:8名Ⅱ:1名Ⅲ:5名計14名	Ⅰ:10名Ⅲ:1名Ⅳ:1名Ⅴ:1名合計13名
	5	マネジメントラダー認定数		申請者100%	Ⅰ:8名Ⅱ:1名Ⅲ:5名計13名	Ⅰ:10名Ⅲ:1名Ⅳ:1名Ⅴ:1名合計13名
	6	マネジメントラダー認定率		100%		93%
	7	主任管理研修参加率		前年度よりUP	83名	76%
	8	1stステップ受検者		新任主任以外対象者12名	6	6
	9	2ndステップ受検者		5名	4	0
看護の質	1	新規バス件数	クスリ委員会	※対象者73名		
	2	バージョンアップバス件数		10件	4	7
	3	バリアンス(正・負)発生率		15件	17	17
	4	ドロップアウト率		30%	21.5%	22%
	5	バス利用率		10%	5.5%	6%
看護の質	1	入院支援加算1件数	接遇委員会	52.00%	52.5%	53.70%
	2	入院支援加算2件数		2000件	2658件(1月末データ)	2872件(1月末データ)
	3	退院後訪問指導料件数		1000件	558件(1月末データ)	76件(1月末データ)
看護の質	1	接遇基本チェック平均点数	接遇委員会	15件	15件	15件
	2	キャリアラダー別研修 自己評価(Ⅰ～Ⅴの平均)		2回/年(6月・1月) 全年度よりUP	8.1	8.1
	3	キャリアラダー別研修参加数		年間 3.0以上	3.45	3.2
	4	研修の構成(2)*リッカート評価4.3の割合		総数80人以上	必須研修352名専門別研修281名合計633名	必須研修328名専門別研修104名合計432名
	5	目標達成率(6)*リッカート評価4.3の割合		1回/年 80%以上	94%	97%
看護の質	1	集合研修参加人数(実践報告会含む平均)	教育委員会	1回/年 80%以上	86.7%	92.3%
	2	集合研修内容評価(アンケート)		1回/年 80人以上(院内)	今年度は実施しなかった実践報告会は動画視聴で行った	院長・看護部長からのメッセージ240名看護研究実践報告会152名院長・看護部長からのファストメッセージ130平均174名参加

【2020各チーム等指標】

*各チームで「看護の質」評価として必ずデータを扱うもの
(毎年、評価すべき指標)

チーム	データ	データ管理部門	データ抽出 期間	2月末			
				目標値	中間評価	最終評価	前年度
感染対策	1 手指消毒薬使用量(目標使用量の達成度)	感染対策室	年間	40%	33.05%	31.25%	23.78%
	2 MRSAN新検出数			90	38	80	92
	3 針刺し・切削件数			30	14	30	36
	4 CLABSI発生率/使用比(中心静脈)		半期	1.1/0.48	0.00/0.36	0.00/0.33	1.09/1,000device-days 使用比0.39
	5 UTI発生率/使用比(尿路カテ)			1.50/0.17	0.58/0.21	0.00/0.14	0.00/1,000device-days 使用比0.12
	6 VAP発生率/使用比(呼吸器)			2.1/0.33	0/0.47	0.99/0.42	1.05/1,000device-days 使用比0.40
R S T	1 呼吸ケアチーム介入患者数		年間	5以上	1	1	5人
	2 ラウンド件数			5以上	1	1	6件
	3 呼吸ケアチーム加算件数			2以上	1	1	2件
	4 呼吸ケアチーム介入患者の人工呼吸器装着日数			70日以下	16	16	70日
	5 呼吸ケアチーム介入患者の総入院日			120日以下	89	89	120日
	6 呼吸ケアチーム介入患者の離脱率			100%	100%	100%	80%
	7 呼吸ケアチーム介入患者の人工呼吸器再装着率			0%	0%	0%	209%
	8 気管切開患者ラウンド件数			70件以上	40	73	100件
	9 気管切開患者の気管切開に関するIA件数			10件以下	1	2	10件
	10						
緩和ケア	1 緩和ケア診療加算件数	緩和ケアチーム	半期	700	354.0	要件を満たさず算定再開の旨通知なし	951.0
	2 チーム介入依頼新規患者数			170	74.0	99.0	163.0
	3 チーム往診件数			1200	444.0	596.0	1265.0
	4 チーム総回診件数			45	0.0	0.0	38.0
	5 チームカンファレンス件数			45	16.0	31.0	46.0
	6 外来緩和ケア加算件数			120	91.0	要件を満たさず算定再開の旨通知なし	171.0
	7 がん患者指導管理料(1)件数			350	174.0	340.0	278.0
	8 がん患者指導管理料(2)件数			350	266.0	502.0	470.0
	9 がん性疼痛緩和指導管理料(麻薬処方との比)			30%以上	34%	37%	45%
	10 苦痛のスクリーニング未対応率			30%以下	36	28	29
	11 地域連携バス件数			7	0	1	2
	12 外来での患者情報シート活用件数			40	63	125	94
	13 デスカンファレンス件数			20	21	24	26
リンパ腫 リンパ	1 リンパ浮腫指導管理料	リンパ浮腫外来 (医療リンパドレナ ーセラビスト)	年間	前年度程度		130	173
	2 リンパ浮腫外来のべ件数		年間	前年度程度		55	87
	3 リンパ浮腫複合的治療件数		年間	20			0
	4						
	5						
がん 化学 療法	1 がん化学療法に関するIA報告件数	がん化学療法CN IVナース育成検討会 チームオンコロジー	年間	34件以下		22	42
	2 ポート感染発生件数			0		2	6
	3 IVナースレベルIV認定者数			15名以上		33	20
	4 キャンサーボード検討症例数			100件以上		24	53
	5 血管外漏出件数			4件以下		4	5
	6 外来化学療法中の非血液毒性grade3の件数			0		2	0
災害対策	1 院内災害訓練回数	庶務	年間	前年度増	0	0	4
	2 DMAT災害訓練・研修参加回数			前年度増	1	1	4
	3 災害支援ナース研修者数(看護部長室)			前年度増	0	0	9人+3人(救急医療実地訓練終了)
トリアージ	1 アンダートリージ率	中処置	月別/年間	前年度改善	0.0%	0.5%	0.3%
	2 トリアージナース認定者数(認定者数とする)		年間	前年度増	2	3	0
	3 トリアージ苦情件数		月別/年間	前年度減	0	0	0
褥瘡対策	1 褥瘡推定発生率	褥瘡対策	3ヶ月	0.6%以下	0.57%	0.40%	0.51%
	2 褥瘡有病率			6ヶ月	1.1%以下	1.01%	0.7
	3 褥瘡治療率			年間	35%以上		52
	4						1.33
摂食・嚥下 チーム	1 嚥下チームラウンド件数	摂食・嚥下チーム	半期	前年度増	18	29	39
	2 摂食機能療法件数			前年度増	1278	2758(1月末)	4345
心不全	1 院内退院支援カンファレンス実施件数	心不全チーム	半期	前年度増		517	366
	2 終末期カンファレンス件数			前年度増	4	4	11件
	3 個別患者教育指導件数			前年度増	7	33	96
	4 ADL維持向上体制加算人数			前年度増	803人3008件	1565人6119件	1350
	5 心臓病教室参加人数			前年度増	0	0	222
	6 退院支援加算件数			前年度増		267	285
心不全 看護外来	1 個別面接 外来(継続)・退院後	認定看護師 (心不全)	1年	200件以上	52	106	134
	2 入院病床訪問			100件以上	42	99	101
	3 電話訪問			前年度増	42	73	36
高齢者 総合支 援チーム	1 せん妄ケア加算(2020年新設)	高齢者総合 支援チーム	6ヶ月	2000件以上	4311	7729(1月末)	2020年新規 408(1月末)
	2 認知症ケア加算件数			前年度増	159(8月まで)	346(1月末)	
	3 介入依頼件数			前年度増	374	768	717
	4 認知症ラウンド件数			前年度増	55	271	1690
	5 認知症・せん妄対策カンファレンス件数			前年度増	26	34	75
	6						
医療安全 対策チーム	1 IA報告件数	医療安全対策室	半期	前年度程度	1832	3327	3957
	2 医療事故報告件数			前年度減	26	33	50
	3 事故分析件数			前年度減	23	34	34
	4 (看護部関連)皆様の声報告件数			良い件数の増	35(良い25件)	65(良い25件)	173件中(43件)
	5 苦情報告件数			前年度減	36	56	112
	6						
糖尿病 チーム	1 糖尿病透析予防指導管理料算定件数	糖尿病 チーム	1ヶ月	前年度減	4	9件	23
	2 糖尿病地域連携バス使用患者数			前年度減	2人	2件	5.0
	3 院内勉強会参加人数			50名/1回のみ	0人	0人	1回目90名、2回目69名
	4 糖尿病関連IA件数			前年度減	78件	125件	171件
	5 糖尿病病室参加人数		1年	100名以上	18人	18人	591件
	6 糖尿病チームコンサル件数			25件以上	21件	40件	34件
	7 フットケア件数			前年度減	14件	30件	71件
	8 療養指導件数			1ヶ月	前年度減	コスト74件/実績79件	コスト132件/実績538件
ASA肝 臓チ ーム	1 肝臓病教室参加人数	肝臓病チーム	2ヶ月	前年度増			37人/6回
	2 肝臓病教室参加患者満足度			前年度改善			97.20%
	3 B・C型肝炎ウイルスキャリア者受診率			1年	前年度改善	71.40%	66.70%
	4 針刺し事故感染者フォロー率			1年	前年度改善	1名100%	3名66%
	5 医療者への院内勉強会実施件数			前年度増			2回/年
	6 医療者への院内勉強会参加人数			前年度増			1回目38名、2回目46名
助産外来	1 延べ助産外来実施件数(4月～3月)	産婦人科外来	6ヶ月	実施件数/ 全分娩件数	助産外来 101件/6ヶ月 分娩件数 218件/6ヶ月	助産外来 189件/年(2月末) 分娩件数 371件/年(2月末)	助産外来 208件/年(2月末) 分娩件数 425件/年(2月末)
物忘れ外 来	1 延べ外来件数(4月～2月)	もの忘れ外来(神内)	1年	前年度増	275	446	599(1月末)
排尿ケ アチ ーム	1 介入患者数	排尿ケアチーム	1年	前年度増		148	178人
	2 排尿自立指導料加算回数			250回以上		184	377回
	3 排尿自立度の改善人数			80%以上		83%	83%
早期リ ハチ ーム	1 入室患者の介入患者割合	早期リハチーム	1年	30%以上		224名 35.5%	264名 38.5%
周手術 期チ ーム	1 介入件数	周術期管理チーム	1年	前年度増	平均57件/月	平均83件/月	平均64件/月
	2 介入患者の術前検査漏れ件数			0件	0件	0件	0件

【看護外来等件数推移】

* データは、2月末時点でカウント

		H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	R2(2020)
心不全看護外来	慢性心不全認定Ns	106	286	253	177	134	106
助産外来	N3、産婦人科外来	89	80	76	102	208	189
もの忘れ外来	認知症ケア認定Ns	705	752	775	701	648	446
ストーマ外来	WOC認定Ns	370		593	618	573	339
リンパ浮腫外来	癌性疼痛認定Ns	3	22	117	54	87	55
療養相談	DM認定Ns					480	538
フットケア						71	30
透析予防						23	9
特定行為(山崎)	延べ回数				100	83	71
	対象者数				14	27	21
特定行為(小林)	延べ回数					36	69
	対象者数					29	
特定行為(杉本)	延べ回数					2	0
	対象者数					2	0
						特定行為(神田)	延べ回数
							対象者数
						特定行為(長見)	延べ回数
							対象者数
						特定行為(斉藤)	延べ回数
							対象者数

2020年度 教育計画

広島市立安佐市民病院 看護部

		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
レベルⅠ	新人研修・修業指導員		集合研修・初期研修Ⅰ	集合研修・初期研修Ⅱ				集合研修(9/18) (9:00～13:00)	集合研修(10/16) (13:15～16:45)	集合研修(11/20) (13:30～16:00) 救急研修生研修(11/30) (AM1G PM2G)	集合研修(12/4)	レベルⅠ：1年の振り返り (1/22 13:15～15:15) 修業指導員の役割 (1/22 15:30～16:45)	シミュレーション研修(2/12) (2G 9:30～12:00・ 1G14:00～16:30)	
	必須研修	①プリセプター研修(各部署にて)				マンパシブ研修 1回目 (7/3)					マンパシブ研修 2回目 (12/18)			
	がん看護					■①講義(7/16)		■③講義・演習 (9/24)	看護過程の展開(10/2)					
	入退院支援												①講義(動画視聴) (2/18)	
	認知症看護					■①講義(7/31)			■②講義・グループワーク (10/26)					
レベルⅡ (専門別実習先) (2コース以上)	救急看護				■①講義・ロールプレイング (6/15・6/19)							■②講義・ロールプレイング 1G(1/6) 2G(1/15)		
	必須研修					看護診断 1回目(7/2)			看護診断 2回目(10/1)					
						■シリーズ看護研究 動画視聴(7月末まで)								
						リーダーシップ研修 1回目 (7/13)			リーダーシップ研修 2回目 (11/9)					
						リフレッシュ研修 (7/7 7/10)								
レベルⅢ	がん看護								■①講義(10/15)		■②講義・演習(12/3)			
	がん化学療法					■①講義(7/20)			■②講義・事例検討 (10/19)					
	入退院支援				■①講義・グループワーク (6/24・3/中央)				■②事例発表 グループワーク(11/5)					
	救急看護								①講義・演習(11/20)			②講義・演習(1/21)		
	重症症看護				■②講義(6/1)	■①講義(7/9)			■③グループワーク (10/9)					
	認知症看護				■①講義・グループワーク (6/8)				■②講義・グループワーク (10/12)					
	感染管理				■①講義(6/29)					■②講義・グループワーク (11/13)				
	慢性症看護					■①講義・グループワーク (7/6)				■②講義・演習(11/26)				
	終末期看護							■①講義(9/25)						
	必須研修				研究における統計学の基礎 1回目(6/12)	看護管理研修 1回目 (7/17)		研究における統計学の基礎 2回目 (9/23)		④研究におけるプレゼンテーション(11/25)				
レベルⅣ	がん看護				■①講義(6/22)				看護管理研修 2回目 (10/27)		開腹術技法の基礎 2回目 (12/10)			
	専門別実習先 (2コース以上)									■②事例検討(11/12)				
	入退院支援							■①講義・グループワーク (9/18)			■②講義・グループワーク (12/15)			

レベルⅤ	必須研修	研修内容	①個人で選択した出張研修・管理研修(問題解決・倫理・人材育成など)												
			3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
集合研修 17:00～18:00 質疑応答 実地指導者研修														□増尾研究実践報告 (2月末日まで 動画視聴)	
														□2/8・24	□3/5
各研修員 必須研修 17:15～18:15		■安全研修放火特線 ■医療安全研修 (5/7～5/31動画視聴)												■持退研修(資料参照)	
フリゼブター全 16:45～18:15 南部3階講堂									■1 回目(9/1・9/11)			■2 回目(12/25・12/28)			□フレッシムハート ナー研修(3/15)
										□新部長研修・会議ファン リナーション (10/12)					
看護補助者研修 ※ 南部3階講堂															
主任管理研修 (16時15分～17時45分)															
院長マネジメント 研修 (17:00～18:00)															

2020年度 新人看護職員研修年間プログラム

広島市立安佐市民病院 看護部

		4月～5月	6月	7～8月	9～10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目標		1. 安佐市民病院の概要を知り、組織の一員としての役割を理解し行動できる 2. 基本的看護の知識、技術、態度を身につけ、安全確実な看護技術が実践できる 3. 基本的な看護過程の展開ができる 4. 職業人としての接遇・マナーを身につけ、健康管理ができる								
重要な職 業基本 態度と 姿勢と しての 意図	初期研修Ⅰ (10日) 4/6～21	初期研修Ⅱ (14日) 4/27～5/22 支援センター研修 (平日)	→		ローテーション研修Ⅰ 中央部門：手術室 中央処置室(各2日間) 病棟研修(5日間)					
	□看護部の職員としての役割(社会人基礎力含む)(4/2)		□2ヶ月目の振り返り(6/26)	□6ヶ月目の振り返り(10/16)	□9ヶ月目の振り返り(12/4)					
技術的側面	□職業人・社会人としての役割(4/2)									
	□継続教育(新人看護職員研修について)(4/2)									
	□教育体系(院内教育・キャリアラダー・IV育成プログラム)(4/3)									
	□看護倫理(4/3)									
	□職員倫理・人権問題・メンタルヘルス・情報セキュリティ ・接遇・医療保険制度(合同研修)(4/8)									
	□メンタルサポート(5/7)									
	□標準予防策、感染経路別予防策(4/1)									
	□注射・与薬時の患者確認防止(4/6)									
	□吸引技術(4/22)									
	□高齢者を取り巻く環境と看護(4/22)									
管理的側面	□薬剤の基礎知識②血管外漏出時の対応(4/22)									
	□安全管理の基礎知識(4/23)									
	□臨床検査と検体の取り扱い(4/23)									
	□インスリンの基礎知識(4/23)									
	□排尿ケアの概要(4/23)									
	□静脈血採血(4/24)									
	□放射線検査・治療の看護(5/7)									
	□創傷管理:スキネア(5/7)									
	□輸液・シリンジポンプの適正使用									
	□輸液ラインの適正使用(5/7)									
看護記録	□輸液療法の管理・静脈血管確保(5/8)									
	□医療安全と事故防止(4/1)									
	□医療ガスの適正使用(5/7)									
	□看護必須度概要(合同研修)(4/1)									
	□看護必須度の操作(4/24)									
	□病院総合情報システム:基本的操作(4/24)									
	□看護業務基準・手順について(4/2)									
	□薬剤の基礎知識①(4/3)									
	□防災研修(防災センター)(4/15)									
	□災害・防災管理(4/22)									
その他	□看護記録(4/3)	※電子カルテシステムにおける看護記録看護診断クリニカルパス入力部署OJT(4/27)(5/11)								
	□クリニカルパスの概要(4/23)									
	□看護診断(5/11)									
	□病院の中核的機能について(4/1)									
評価(提出物)	★集合研修:振り返りシート	★看護記録・電子カルテ入力チェックリスト(5/11)	★看護記録・電子カルテ入力チェックリスト(5/11)	★看護記録・電子カルテ入力チェックリスト(5/11)	★新人看護職員研修:管理的側面、連携度の確認や今後の取り組みを確認する	★ラダー受領にむけた取り組み				

【資格等】

2020年度3月末現在

資格	人数	備考
ファースト修了者	83	看護協会
セカンド修了者	10	看護協会
サード修了者	4	看護協会
認定看護師	18	看護協会
特定行為研修	5	看護協会
リスクマネージャー資格	7	病院協会・看護協会
糖尿病療法士	9	学会認定
NST	27	学会認定
呼吸療法士	16	学会認定
臓器移植コーディネーター	7	大学エクステンション
肝臓病コーディネーター	10	広島県
特任肝疾患コーディネーター	2	広島県
Dマット隊員	4	広島県
災害支援ナース	7	看護協会
臨床輸血看護師	2	学会認定
新生児蘇生法コース	30	学会認定
助産師ラダーⅢ	13	看護協会
看護教員資格者	4	看護教員養成講習会
実習指導者講習会修了者	13	看護協会
修士	4	大学

【院内資格】

キャリアラダー

	認定者数
キャリアラダーⅠ	109
キャリアラダーⅡ	207
キャリアラダーⅢ	78
キャリアラダーⅣ	2

マネジメントラダー

	認定者数
マネジメントラダーⅠ	33
マネジメントラダーⅡ	29
マネジメントラダーⅢ	5
マネジメントラダーⅣ	5
マネジメントラダーⅤ	1

Ⅳ(静脈注射)ナース

	延べ人数	備考
レベルⅠ	604	指導の下静脈注射
レベルⅡ	604	化学療法以外、輸血実施可
レベルⅢ	526	ポート針挿入
レベルⅣ A	230	化学療法投与
レベルⅣ B	175	造影剤投与
インストラクターレベルⅢ	79	レベルⅢまでの支援
インストラクターレベルⅣ A	30	レベルⅣ Aの支援

2020年				
分野	名前	取得年/職位	主な活動内容	数値
皮膚排泄ケア	神田 光太郎	2010(H22)年 専従看護師 主任看護師	院内 WOCN研修:褥瘡ラウンドOJT 褥瘡研修:新人研修のための褥瘡リンクナース教育 ストーマ勉強会:南5階看護師対象 IVナース教育:固定法 褥瘡回診(皮膚科医・薬剤師・管理栄養士・看護師) ストーマ外来件数 褥瘡予防・管理カンファレンス ストーマチーム会 褥瘡発生報告書(コラム)開始 ストーマ造設術を施行した患者の調査研究 院内発表	12回/年 1回/年 1回/年 2回/年 1回/週 348件/年 1回/週 12回/年 1回/年
			院外 日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会評議員 学会・研究会発表研究会参加 学会発表 院外講師 院外からのコンサルテーション件数 院外の褥瘡管理OJT 退院後訪問看護 特定行為研修「創傷管理関連」修了	1回/年 4回/年 2回/年 7回/年 53件/年 3回/年 2件/年
感染管理	大野 公一	2005(H17)年 看護師長	院内 AST研修 院内講師	2回/年
			院外 NPO法人ひろしま感染症ネットワーク:派遣巡視 広島県:健康調査・検診 広島県:PPE着脱訓練 広島県看護協会:COVID-19感染対策 日比野病院:COVID-19感染対策 祇園野村病院:COVID-19感染対策 加算1連携施設との相互ラウンド評価 加算2施設への研修会 広島県看護協会::ICNの集い	2回/年 1回/年 1回/年 2回/年 1回/年 1回/年 1回/年 2回/年 3回/年 1回/年
	森合 真治	2014(H26)年 主任看護師	院内 院内研修講師 陰圧テント:器具導入 紫外線照射ロボット:器具導入 褥瘡対策委員会:4チームのチーム活動 ICT巡視 COVID-19感染対策全般の活動	6回/年 1回/年 1回/年 5回/年 12回/年 年間を通して
			院外 地域ネットワークWEB会議 地域連携加算施設からのメール相談 広島院内感染対策研究会の運営協力	4回/年 4回/年 年間を通して
救急看護	長見 由美	2013(H24)年 主任看護師	院内 院内スタッフへの心肺蘇生研修:出前講座 院内研修講師 災害訓練 研修会 院内スタッフへの挿管助研修:出前講座 研修医ACLS インストラクター 総合診療部トリアージ委員会 災害対策チーム	看護師536名 コメディカル86名 8回 IVナース・ラダー・新人看護師研修 訓練1回 研修会4回 中央処置室26名 他部署8回 1回 2ヶ月1回 3ヶ月1回
			院外 院外講師 院外発表 災害支援ナース 学会参加	11回 看護協会5回 大学2回 多施設4回 協同研究 1回 1回 1回
集中ケア	鈴木美香	2011(H23)年 主任看護師	院内 早期離床チームの取り組み:入室後48時間以内のリハビリ介入 人工呼吸器の安全な早期離脱を目指した横断的ラウンド 気管切開患者の安全管理を目指した横断的ラウンド RRTラウンド 院内新人研修・コース別研修担当 院内研修講師 学会参加	224人/年 685件/年 1件/年 20人/年 73件/年 71人/年 72件/年 4回/年 3回/年 1回/年
がん化学療法看護	佐々木恵子	2007(H19)年 主任看護師	院内 IVナース育成プログラムにおける研修 がん診療検討委員会 化学療法関連コンサルテーション 内服抗がん剤(レゴラフェニブ)マニュアル改定 各レジメン・薬剤投与マニュアル作成 化学療法センターCOVID-19マニュアル作成 がん診療検討委員会 学会参加	1回/年 1回/週 6件/年 1回/年 1回/年
			院外 IVナース育成プログラムにおける研修	4回/年
	小原 由里	2011(H23)年 主任看護師	院内 がん診療検討委員会 がん診療検討委員会 院内研修講師 学会参加	1回/週 3回/年 2回/年
			院外 がん患者カウンセリング 緩和ケアチーム活動 院内講師 日本緩和医療学会 がんゲノム医療コーディネーター研修会	がん患者指導管理67件 12回/年 1回/年 1回/年 1回/年

緩和ケア	矢田 和美	2011(H23)年 主任看護師	院内	がん患者カウンセリング 緩和ケアチーム活動:リンクナースとともにOJT実施 がんゲノム医療コーディネーター がんゲノム外来での患者対応 緩和ケア委員会 ACP情報共有ツール作成・広報 院内講師	307件 年間を通して 年間を通して 1回/月 4回
			院外	院外講師 在宅緩和ケア推進事業コーディネーター会議(WEB)	2回 2回/年
	西岡 由香	2012(H24)年 主任看護師	院内	がん患者カウンセリング 院内研修講師 緩和ケアチーム活動	がん患者指導管理:32件 4回/年 12回/年
			院外	学会参加 院外講師	1回/年 1回/年
がん性疼痛看護	升田 志保	2013(H25)年 主任看護師	院内	がん患者カウンセリング 緩和ケアチームラウンド 緩和ケアチームカンファレンス 緩和ケアチーム回診 リンパ浮腫外来 院内研修講師	113件/年 596件/年 46回/年 38回/年 55件/年 1回/年
			院外	院外講師 学会参加	1回/年 1回/年
摂食嚥下障害	杉本 みほ	2010(H22)年 主任看護師 2019(R1)年度 特定行為研修 修了	院内	嚥下チームラウンド RRTラウンド NSTラウンド 院内新人研修・コース別研修担当 院内研修講師	1回/週 1回/週 1回/週 2回/年 1回/年
			院外	広島県摂食嚥下障害看護研究会 摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程・非常勤講師 特定行為研修指導者講習会 学会参加	2回/年 1回/年 修了 1回/年
慢性心不全	小林 志津江	2013(H25)年 主任看護師 2019(R1)年度 特定行為研修 修了	院内	心不全看護外来 入院患者病床訪問 心不全緩和ケアチームカンファレンス RRTラウンド 院内研修講師(コース別研修含む) 特定行為	外来面接106件/年 電話73件/年 99件/年 3件/年 1回/週 7回/年 33件/6ヶ月
			院外	慢性心不全看護認定看護師中四国地域会:事例検討 院外講師 学会発表 学会誌執筆	4回/年 3回/年 3回/年 1件/年
	影山 紗季	2014(H26)年 看護師	院内	キャリアラダー慢性疾患専門別研修講師 院内研修講師:心不全勉強会 南7病棟 心不全緩和ケアカンファレンス・介入 集団教育 病床訪問(患者教育)	2回/年 1回/年 4件/年 9人/年 33件/年
			院外	院外研修講師 心臓リハビリについて執筆(メディカ出版)	3回/年 1回/年
認知症看護	上石 久子	2014(H26)年 主任看護師	院内	高齢者総合支援チーム委員 認知症地域連携・パスワーキンググループメンバー 認知症ケアカンファレンス 認知症ケア・せん妄対策チーム介入依頼件数 認知症ケア・せん妄対策チームカンファレンス件数 個別ラウンド件数 院内研修講師 もの忘れ外来マニュアル改定実施 入院支援センターでの入院前カンファレンス参加	1回/週 624件/年 33件/年 1063件/年 6回/年
	西川 博子	2015(H27)年 主任看護師	院内	学会参加 高齢者総合支援チーム委員 認知症・せん妄対応ラウンド 院内研修講師 委員会研修 認知症ケア加算の運用フローの修正 認知症ケアマニュアル改定実施 せん妄ケアマニュアル改定実施	1回/年
糖尿病看護	山崎 優介	2016(H28)年 主任看護師	院内	糖尿病チームメンバー 糖尿病看護外来(療養相談・フットケア・透析予防) RRTチーム チーム医療特定行為推進委員会 院内研修講師 血糖測定器導入(病棟・外来POCTの導入)院内SMBG新規採用	毎週水曜日 1回/週 2回/年 3回/年
			院外	日本糖尿病教育・看護学会研修推進委員 同上 将来検討委員 日本フットケア・足病医学会ガイドライン策定委員 広島県糖尿病看護認定看護師会代表世話人 糖尿病腎不全看護研究会世話人 学会・研究会(講演・ミニレクチャー・シンポジウム) 院外講師・ファシリテーター	3回 6回/年

2020年度看護部学会発表等

* 多職種発表者の場合、下線部が看護部

No	月	日	部署	発表者	演題名	学会名(開催地)
1	7	25～26	南2	小林志津江	入院時の心不全手帳導入および退院後の継続使用は、心不全の再増悪を抑制できる	第26回心臓リハビリテーション学会学術集会
2	9	19～20	中処置	山崎優介	研究を始める前に～研究計画書作成のコツ	第24回日本糖尿病教育・看護学会学術集会
3	10	6	TQMセンター	若槻浩子	外来患者の採血待ち時間短縮へ向けた取組	第22回日本医療マネジメント学会学術総会
4	10	10～11	南2	小林志津江	シンポジウム	第17回日本循環器看護学会学術集会
5	10	15～17	南2	小林志津江	慢性心不全の維持期から終末期へ移行した患者に対して、状態変化に応じた支援が可能であった一例	第24回日本心不全学会学術集会
6	11	1～30	北3	村重有理	正常妊婦と切迫早産の治療を行っている妊婦の貧血に対する意識調査	第51回日本看護学会学術集会 ヘルスプロモーション
7	11		北4	西川博子	認知症ケア加算2で施設基準対応研修を受講した看護師が認知症ケアを進める上で抱えている課題	2020年度日本看護学学術集会
8	11	28	中処置	杉本みほ	食べるための口づくりを目指して～急性期病院で取組む嚥下訓練	第13回安佐地区栄養サポート研究会
9	12	4～5	中処置	山崎優介	シンポジウム	第1回日本フットケア・足病医学会
10			中処置	山崎優介	教育講演2 タスクフォース	第11回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会

発表論文等

日総研	看護人材育成	看護部	野村弘美	コロナ禍における院内教育の実践と今後を見据えた課題	2020年9月号
安佐医師会学会記録集	安佐医師会	南7	大畠 亜架音	COVID-19患者を第一波から受け入れて思うこと～地域の基幹病院としての感染看護	2021年3月
循環器看護学会誌		南2	小林志津江	看護師の視点から行う特定行為～患者の負担を軽減するために～	

2020年度 学会・研修参加 教育活動(非常勤講師その他)

	西暦年	月	日	部署	演題名・用務名	発表者	開催地・発表(開催場所)
1	2020	4	6～ 2021.3/26	OP	日本看護協会看護研修学校 認定看護師教育課程(感染管理学科)	斉藤 貴志	東京都清瀬市
2	2020	4	13～3/31	医支	特定行為研修(創傷管理関連)	神田 光太郎	広島県広島市
3	2020	4	13～3/31	中処	特定行為研修(呼吸器関連・動脈血ガス分析関連・栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連)	長見 由美	広島県広島市
4	2020	6	20～8/22	S8	2020年度 小児看護に関する専門研修「基本コース」	陰浦 望	広島県広島市
5	2020	7	1～2	ICU	感染管理 基礎編	作本 直美	広島県広島市
6	2020	7	1～8/31	S7	19重症度、医療・看護必要度 評価者 院内指導者研修	畑間 久美	オンラインセミナー
7				S2		金永 のぞみ	
8				ICU		中川 敬子	
9				S6		宮本 千恵	
10				N4		岡脇 嗣治	
11				S8		小西 由美	
12	2020	8	22	OP	皮膚排泄ケア認定看護師と感染管理認定看護師のためのキャリアアップ講座	斉藤 貴志	東京都千代田区
13	2020	8	9～10	S5	緩和・支持・心のケア合同学会大会2020	伊藤 美幸	Web
14	2020	8	2～10/22	TQM	令和2年度医療安全管理者養成研修	海田 恵子	
15	2020	9	11	S6	急変時のアセスメントと対応(基礎編)	堀田 莉紗	広島県広島市
16	2020	9	19～20	中処	第25回 日本糖尿病教育・看護学会学術集会	山崎 優介	Web
17	2020	9	17	N6	病棟ナースができる退院支援	石井 真美	広島県広島市
18				N4		迫田 佑季	
19				N5		山田 裕紀	
20	2020	10	1～3/29	OP	兵庫医科大学 認定看護師教育課程(手術看護分野)	森脇 竜一	兵庫県神戸市
21	2020	10	6～7	中処	第22回 日本医療マネジメント学会学術総会	若槻 浩子	京都府京都市
22	2020	10	10～11	S2	第17回 日本循環器看護学会学術集会	小林 志津江	京都府京都市
23	2020	10	15～17	S2	第24回 日本心不全学会学術集会	小林 志津江	Web
24	2020	11	1～30	N4	2020年度 日本看護学会学術集会	西川 博子	Web
25	2020	11	1～30	S2	日本看護学会 急性期看護	佐藤 友里	Web
26	2020	11	1～30	N3	第51回 日本看護学会学術ヘルスプロモーション	村重 友理	Web
27				S5		平田 智恵	
28	2020	11	6～9	OP	第34回 日本手術看護学会年次大会	石友 卓希	Web
29	2020	11	2～17	N6	研修責任者研修	上田 淳子	広島県広島市
30	2020	11	5～6	S7	認知症高齢者の看護実践に必要な知識	村上 直美	広島県広島市
31						林 敬太	
32						下田 洋子	
33	2020	11	22～23	S8	第15回 医療の質・安全学会学術集会	谷口 尚子	Web
34	2020			N5		尾田 美恵	
35	2020	11	24	N4	倫理実践を支える看護管理者の役割	米田 サトエ	広島県広島市
36	2020	11	26～28	外2	第39回 日本認知症学会学術集会	上石 久子	Web
37	2020	12	4～5	中処	第1回 日本フットケア・足病医学会年次学術集会	山崎 優介	Web
38	2020	12	9～10	S8	子どものフィジカルアセスメント	八谷 春奈	広島県広島市
39	2021	1	26～27	S8	ファシリテーションスキル	國貞 純子	広島県広島市
40	2021	1	18～2/5	中処	2020年度 特定行為研修指導者講習会	杉本 みほ	Web
41	2021	2	12～14	ICU	第48回 日本集中治療医学会学術集会	鈴木 美香	Web
42	2021	2	14	N6	がんゲノム医療コーディネーター	小原 由里	Web
43				S5		伊藤 美幸	

2020年度 研修参加・教育活動(非常勤講師その他)

	西暦年	月	日		科目・研修会名等	場所	講師者
1	2020	4	19		健康調査、健診	見真学園	大野 公一
2	2020	5	18	講師	成人看護学(人工肛門造設患者の看護)	広島市立看護専門学校	神田 光太郎
3	2020	6	3	講師	成人看護学(心不全病態生理、患者教育について)	広島市立看護専門学校	影山 紗季
4	2020	6	10	講師	成人看護学(心不全病態生理、患者教育について)	広島市立看護専門学校	影山 紗季
5	2020	6	17	講師	成人看護学(心不全病態生理、患者教育について)	広島市立看護専門学校	影山 紗季
6	2020	6	27~8/30	講師	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	広島県看護協会	升田 志保
7	2020	7	15	講師	褥瘡看護	広島市立看護専門学校	神田 光太郎
8	2020	7	16	講師	褥瘡看護	広島市立看護専門学校	神田 光太郎
9	2020	7	23	講師	日本プライマリケア連合会	Web	山崎 優介
10	2020	7	23	講師	日本プライマリケア連合会	Web	松中 裕子
11	2020	8	11	講師	令和2年度 看護師看護師研修会	広島県教育委員会	小林 志津江
12	2020	8	30.31		ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	広島県看護協会	升田 志保
13	2020	9	3		NPO法人広島感染症ネットワーク	たから助産師	大野 公一
14	2020	9	13	講師	KCCC ワンコイン・オンライン・WEBINAR	Web	山崎 優介
15	2020	9	15	講師	令和元年度認定看護師教育課程における非常勤講師または特別講師就任	日本赤十字広島看護大学	杉本 みほ
16	2020	9	18		NPO法人広島感染症ネットワーク	はすがおか認定学園	大野 公一
17	2020	9	19	講師	医療安全管理者養成研修	広島県看護協会	近森 さつき
18	2020	9	20	講師	日本糖尿病教育・看護学会研究推進委員会	Web	山崎 優介
19	2020	10	2	講師	新型コロナウイルス感染症対策研修会	倉掛のぞみ園	大野 公一
20	2020	10	8	講師	統合看護総論	広島市立看護専門学校	田村 真佐美
21	2020	10	15	講師	感染管理について	広島市立看護専門学校	森合 真治
22	2020	10	22	講師	拝謁ケア	広島南福祉センター	神田 光太郎
23	2020	10	25	講師	令和2年認定看護師研修会	広島県看護協会	山崎 優介
24	2020	10	25	講師	令和3年認定看護師研修会	広島県看護協会	松原 朱美
25	2020	10	26	講師	ACP	亀山公民館	矢田 和美
26	2020	11	6・14・21	講師	令和2年度広島県保健師助産師看護師実習指導者講習会	広島県看護協会	北平 久子
27	2020	11	11	講師	臨地実習について	安佐准看護学院	野村 弘美
28	2020	11	16	講師	2020年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程	広島県看護協会	松原 朱美
29	2020	11	16	講師	新型コロナウイルス感染症研修会	広島県健康福祉局	大野 公一
30	2020	11	12	講師	特別講演 慢性期病とともに地域で生活する人への看護の実態	県立広島大学	山崎 優介
31	2020	11	25	講師	在宅緩和ケア連携研修	千代田産業振興センター	矢田 和美
32	2020	11	26	講師	除構想看護	安佐准看護学院	神田 光太郎
33	2020	11	27	講師	新型コロナウイルス感染症対策研修会	広島県看護協会	大野 公一
34	2020	11	2・23		認定看護管理者 ファーストレベル教育課程「統合演習Ⅰ」の助言・指導	広島大学病院	近森 さつき
35	2020	12	1	講師	糖尿病の疾患理解について	西区保健センター	山崎 優介
36	2020	12	4	講師	第1回 日本フットケア・足病医学会年次学術集会	Web	山崎 優介
37	2020	12	7	講師	慢性心不全の看護～ステップアップ編	広島県看護協会	小林 志津江
38	2020	12	10	講師	ストーマケア	安佐准看護学院	神田 光太郎
39	2020	12	11	講師	Webセミナー	持田ヘルスケア	山崎 優介
40	2020	12	11	講師	Webセミナー	持田ヘルスケア	神田 光太郎
41	2021	1	19	講師	認定看護師課程	学校法人川崎学園	小林 志津江
42	2021	1	22	講師	認定看護師課程	学校法人川崎学園	小林 志津江
43	2021	1	29	講師	認定看護師課程	学校法人川崎学園	小林 志津江
44	2021	1	26	講師	感染対策研修	日比野病院	大野 公一
45	2021	2	10		令和2年度 看護職員認知症対応能力向上研修	広島県看護協会	西川 博子
46	2021	2	20		安佐地区地域ケアフォーラム2020		松中 裕子
47	2021	3	3	講師	感染対策研修	メディカルパーク野村病院	大野 公一
48	2021	3	11	講師	呉病診連携糖尿病講演会	呉	山崎 優介
49	2021	3	23	講師	糖尿病看護実践について(テルモ社内研修)	オンライン	山崎 優介

令和2年(2020)年度社会貢献

	社会的活動	名前	役割	主催
1	令和元年度在宅医療の人材(訪問看護)確保推進事業に係る看護師の相互交流派遣研修事業連絡会	松原 朱美	委員	広島県看護協会
2	広島県看護協会選挙管理委員会	松原 朱美	委員長	広島県看護協会
3	広島県看護協会北支部 教育担当	野村 弘美	委員	広島県看護協会北支部
4	広島県看護協会推薦委員	阿部 優子	委員	広島県看護協会
5	日本手術看護学会中国地区広島分会役員会	寺内 悦子	役員	日本手術看護学会中国地区広島分会
6	ガイドライン委員会	山崎 優介	委員	日本フットケア足病医学会
7	広島県看護協会北支部 推薦担当	栗栖 近子	委員	広島感染防止及び滅菌業務研究会
8	心臓いきいき推進委員	小林 志津江	委員	広島大学心不全センター
9	広島県看護連盟青年部	槌田 聖子	委員	広島県看護連盟
10	広島県看護連盟広報担当	原田 美樹	委員	広島県看護連盟
11	研修推進委員	山崎 優介	委員	日本糖尿病教育・看護学会
12	日本糖尿病教育・看護学会 将来検討委員会委員	山崎 優介	委員	日本糖尿病教育・看護学会
13	日本ストーリーナビリテーション学会	神田 光太郎	座長	日本ストーリーナビリテーション学会

2020年度臨地実習受入予定学校一覧

今年度は受入れ予定していた学校は、COVID-19のためすべて中止となりました。

学校名	分野
県立広島大学助産学専攻	助産学
広島市立看護専門学校 第一看護学科	基礎看護学Ⅰ、Ⅱ
	成人看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
	母性看護学
	老年看護学
	看護の統合と実践
広島市立看護専門学校 第二看護学科	基礎看護学Ⅰ
	在宅看護論
	統合看護
安田女子大学看護学部	基礎看護学Ⅰ、Ⅱ
	成人看護学
	母性看護学
	助産学
日本赤十字広島看護大学ヒューマンケアリングセンター	摂食嚥下障害看護認定看護師教育課程
島根県立大学	認知症看護認定教育課程
日本赤十字広島看護大学	小児看護学
	母性看護学
広島国際大学看護学部看護学科	統合看護学
穴吹医療大学校看護学科通信課程	基礎看護学
	成人看護学
	老年看護学
	母性看護学
	統合実習
日本医療学園付属東亜看護学院	専門分野Ⅱ(成人)
	(老年)
	(小児)
	(母性)
	看護の統合と実践
安佐准看護学院	基礎看護学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
	成人看護学
	老年看護学
	母性看護学
	小児看護学